

学 会 録 事

1. 日本藻類学会第19回大会

～自由は土佐の地よりいでし～

1995年3月28日～29日、高知城ホール（高知市）において第19回日本藻類学会大会を開催した。大会会長は大野正夫氏（高知大学海洋生物教育研究センター）、準備委員長は奥田一雄氏（高知大学理学部）で、一般講演は72題（うち特別講演3題、展示発表15題）におよんだ。大会参加者は151名であった。

大会1日目に同会場で総会を開催し、引き続き高知市内の土佐御苑にて約2時間にわたって懇親会を開催した。懇親会は奥田一雄氏の司会により、大会会長挨拶、学会長挨拶、来賓挨拶（中内光昭高知大学学長）に続いて鏡割りが行われ、千原光雄国際藻類学会長（日本赤十字看護大学）の乾杯の音頭によって賑やかに開催された。学会の懇親会には珍しい座敷席で、土佐の「一人太鼓」の演奏が披露されるなど楽しい一時がもたれた。大会の運営にあたっては上記各氏のほか、高知大学理学部、海洋生物教育研究センターの職員および学生諸君には大変お世話になった。また、寄付等についてもさまざまな団体にご協力をいただいた。ここに記して厚く御礼申し上げる。

高知大会参加者名簿

青木美恵、鯉坂哲朗、阿部剛史、有賀博文、有賀祐勝、飯田高明、石川依久子、石田健一郎、石丸八寿子、井上勲、井上洋子、上島寿之、上野昌子、内田英信、梅田到、榎本幸人、大賀学、大杉智美、大谷修司、大塚泰介、大野正夫、大橋伸子、大浜武、岡奈津子、岡崎恵視、奥田一雄、奥田武男、奥村宏征、越智雅光、小野晃生、柿崎倍子、垣田浩孝、加崎英夫、梶村光男、片平幸枝、片山舒康、加藤哲也、金井塚恭裕、神谷充伸、川井浩史、川久保明宏、川嶋昭二、河地正伸、神庭賢一、金智姫、熊野茂、倉島彰、小亀一弘、齋藤宗勝、坂牛真司、坂西芳彦、佐藤輝夫、佐藤弘典、佐藤里絵、馬田智、清水貴裕、生野智昭、菅原淳一、杉山孝一、芹澤如比古、田井野清也、田村寛、千原光雄、千室麻由子、張曉明、辻一政、辻村茂男、網川亜紀子、鶴岡英作、寺田竜太、傳法隆、当真武、中島泰、長嶋秀行、長嶋美香子、中司鋼作、富永春江、中野武登、中山剛、西川昭人、二宮正順、根本雄一、野崎久義、能登谷正浩、野呂忠秀、幡野恭子、萩野恭子、原慶明、半田信司、坂東忠司、美藤望、日野修次、平川真紀代、兵頭かほり、藤井浩詞、藤川義一、藤田大介、藤田雄二、古川隆博、

堀輝三、堀江剛、堀口健雄、本多大輔、本多正樹、前川行幸、牧野愛、牧野泰之、増田道夫、松井透、松浦周介、松岡裕美、松村元美、真山茂樹、丸山功、三浦昭雄、溝口亨、三井薫、峯一朗、宮崎亘、宮地和幸、宮下英明、宮村新一、村瀬昇、アニカ・モスタート、本村泰三、森史、守屋真由美、安井肇、矢部和夫、山岡桂子、山崎扶美、山本秀樹、山本弘敏、山本鎔子、箭本亜矢子、横浜康継、善家俊二、吉田絵里、吉田忠生、渡部佐知子、渡辺信（しん）、渡辺信（まこと）、和田実、和田義明、Moraes, CLB., Moskvina, ML., Pang Shaojun, Anong Chiraprt, Jacqueline Rebero, Danilo B. Largo, VoDuy Triet

2. 編集委員会・評議員会

3月27日に高知城ホール2階会議室において英文誌編集委員会および和文誌編集委員会を合同で開催した。和文誌に関しては井上編集委員長より第43巻の編集・発行状況の説明があった。印刷のための出力方法、受理する論文の質の問題、図の説明などに関して審議がおこなわれた。また、英文誌に関しては川井編集長より編集・出版状況の説明があり、別刷りの値段の問題などに関して検討をおこなった。

評議員会を引き続き同会議室で開催した。1995年度総会に提出する報告事項・審議事項などに関しての審議をおこなった。審議の内容については総会の項を参照されたい。

編集委員会出席者：井上勲、川井浩史、藤田大介、日野修次、堀輝三、堀口健雄、石川依久子、片山舒康、前川行幸、増田道夫、真山茂樹、奥田一雄、大野正夫、渡辺信、渡辺信（オブザーバー、吉田忠生、小亀一弘）

評議員会出席者：原慶明、堀口健雄、川井浩史、小亀一弘、熊野茂、増田道夫、中野武登、野崎久義、奥田一雄、奥田武男、渡辺信、渡辺信、山本弘敏、横浜康継、吉田忠生、（オブザーバー、有賀祐勝）

3. 1995年度総会

1995年3月28日の講演終了後、高知城ホールにて総会を開催した。吉田忠生学会長の挨拶ならびに神戸・淡路震災に対するお見舞いの言葉のあと、奥田武男氏を議長に選出して議事に入った。

【報告事項】

●庶務関係

(1) 会員状況 (1994年12月31日現在): 名誉会員2名, 普通会員538名, 学生会員58名, 団体会員60名, 賛助会員11名, 外国会員84名, 国内購読18件, 外国購読37件。(2) 1994年度文部省科学研究費刊行助成金「研究公開促進費」交付額は1,190,000円であった。(3) 第18大会を3月28日~31日, 富山県民会館で開催した。(4) 評議会を1994年3月27日高知城ホール2階会議室で開催した。(5) 6月1日にブラックウェルサイエンスとPhycological Researchの出版契約を締結した。(6) 9月19日に秋季シンポジウムならびに懇親会を北大理学部にて開催した。(7) 10月11日会長および評議員の選挙の開票が東京水産大学にておこなわれた。

●会計関係

(1) 1994年12月31日現在の会費納入率は, 普通会員110%, 学生会員105%, 賛助会員100%, 団体会員163%, 外国会員38%であった。納入率が100%を越えているのは滞納分を納入して下さった会員が多かったため。(2) その他の事項に関しては審議事項参照のこと。(3) 1994年度には藻類絵はがきの会(311,277円), 南伊豆海洋生物研究会(81,000円), 富山大会(200,000円)といった団体から, また個人の会員の方からも藻類学会に対してご寄付をいただいた。記して厚く御礼申し上げる。

●編集関係

(1) 1994年度に発行した「藻類」第42巻第1~4号は, 総頁数462頁, 掲載論文数23編(内, 英論文2編, 和論文2編), 短報8編(内, 英短報7編, 和短報1編), 総説1編, 雑録30編であった。(2) 1995年3月10日に発行した和文誌「藻類」第43巻1号は掲載論文数2編, 短報1編, 解説・総説1編, 研究技術紹介1編, 藻類分布資料2編, 研究機関紹介1編, 書評・新刊紹介2編, その他9編で, 90頁であった。(3) 1995年3月10日に発行予定の英文誌「Phycological Research」第43巻第1号は印刷所(Allen Press)の不幸で発行が遅れた。論文5編, 総説1編で69頁であった。(4) 1995年3月26日現在の和文誌の編集状況(論文, 短報, 解説・総説)は受理済み2編, 審査中7編である。英文誌の編集状況は受理済み8編, 審査中12編である。

【審議事項】

以下の事項が審議され, 了承された。

●日本藻類学会編集委員会内規の改訂

1995年度より雑誌「藻類 The Japanese Journal of Phycology」が和文誌「藻類」と英文誌「Phycological Research」に分割されて発行されることになり, 和文誌編集委員会と英文誌編集委員会を別個に組織することになった。それぞれは委員の構成が異なること, また両委員会の委員の兼務に関する規定などが現行の内規には無いことから全面的な改訂が必要となった。(旧内規に関しては「藻類」第23巻85頁を参照されたい)

《新内規》

日本藻類学会編集委員会内規

1. 英文誌編集委員会と和文誌編集委員会をおく。英文誌編集委員会は英文誌「Phycological Research」の編集・刊行にあたる。和文誌編集委員会は和文誌「藻類 The Japanese Journal of Phycology」の編集・刊行にあたる。
2. 英文誌編集委員会と和文誌編集委員会の内規はそれぞれ別に定めるところによる。

英文誌編集委員会内規

1. 英文誌編集委員会は編集長(Editor-in-Chief)1名, 副編集長(Associate Editor)若干名, 編集委員(Members of Editorial Advisory Board)若干名をもって構成する。
 2. 現会長, 前会長, 次期会長, 現英文誌編集長, 現和文誌編集委員長をもって役員会を組織し, この役員会で協議の上, 評議員会の了承を経て次期編集長を選出する場合には次期会長は役員会には含まれない。副編集長は編集長が委嘱する。編集委員は英文誌編集長及び和文誌編集委員長が協議の上委嘱する。任期はそれぞれ3年とし, 再任する事が出来る。
 3. 編集長は英文誌編集委員会を代表し, 「Phycological Research」の編集・刊行に関する責任を負う。
 4. 副編集長は編集長を補佐し, 「Phycological Research」の編集・刊行に関する業務に当たる。
 5. 英文誌編集長と和文誌編集委員長を兼務する事は出来ない。
 6. 編集委員は「Phycological Research」の企画, 編集, 刊行に関する事項に助言をおこなう。
- 付則: この内規は1996年1月1日より施行する。

付則：現編集長に関しては実質的に1994年から雑誌創刊のための準備活動を開始していたことに鑑み任期を1996年12月31日までとする。

和文誌編集委員会内規

1. 和文誌編集委員会は編集委員長1名、編集実行委員若干名、編集委員 若干名をもって構成する。
2. 現会長、前会長、次期会長、現英文誌編集長、現和文誌編集委員長をもって役員会を組織し、この役員会で協議の上、評議員会の了承を経て次期編集委員長を決定する。ただし、現会長の任期1年目に編集委員長を選出する場合には次期会長は役員会には含まれない。編集実行委員は編集委員長が委嘱する。編集委員は和文誌編集委員長及び英文誌編集長が協議の上委嘱する。任期はそれぞれ3年とし、再任する事が出来る。
3. 編集委員長は和文誌編集委員会を代表し、「藻類」の編集・刊行に関する責任を負う。
4. 編集実行委員は編集長を補佐し、「藻類」の編集・刊行に関する業務に当たる。
5. 和文誌編集委員長と英文誌編集長を兼務する事は出来ない。
6. 編集委員は「藻類」の企画、編集、刊行に関する事項に助言をおこなう。

付則：この内規は1996年1月1日より施行する。

付則：現編集委員長に関しては実質的に1994年から雑誌創刊のための準備活動を開始していたことに鑑み任期を1996年12月31日までとする。

付則：当面の間は和文誌「藻類」の編集委員は「Phycological Research」の編集委員を兼務することとする。

●庶務関係

- (1) 1995年度事業計画：1) 第19回大会・総会・評議会を高知市にて開催する。2) 和文誌「藻類」第43巻1～3号の発行。3) 英文誌「Phycological Research」の発行。4) 秋季シンポジウムの開催。
- (2) 植物学関連学会連絡会及び自然史学会連合に日本藻類学会としても参加することが承認された。
- (3) 学会活動の活性化および学会としての収入増を図るための組織として、企画委員会を設立し、委員長を石川依久子氏（東京学芸大学）に依頼することが承認された。

●会則の改訂

《改訂理由》学会誌が分割されることにより、外国会員

のほとんどは英文誌のみを希望すると考えられる。従って、会則の会員の種別を変更し、英文誌のみを受け取る外国会員と英文誌・和文誌両誌を受け取る国内会員の2つのカテゴリーを設ける必要が生じたため。また、英文誌のみを受け取るということで、外国会員の会費を両誌を受け取る会員より低めに設定することが望ましいと判断されたため。

《新会則》

第6条 会員は次の5種とする。

1. 普通会員（国内会員）（藻類に関心をもち、本会の趣旨に賛同する日本に在住する個人で、役員会の承認するもの）
2. 普通会員（外国会員）（藻類に関心をもち、本会の趣旨に賛同する海外に在住する個人で、役員会の承認するもの）
3. 団体会員（以下変更なし）

第8条 1. 国内会員は毎年会費7,000円（学生は5,000円）を前納するものとする。但し、名誉会員（次条に定める名誉会長を含む）は会費を要しない。外国会員の会費は6,000円（年間）とする。会長の承認を得た外国人留学生は帰国前に学生会費の10年分を前納することができる。団体会員の会費は1口20,000円とする。賛助会員の会費は1口20,000円とする。

2. 略

第12条 1. 本会は定期刊行物「Phycological Research」及び「藻類」をそれぞれ年4回及び3回刊行し、会員に無料で頒布する。

2. 略

3. 略

付則：外国会員には英文誌のみを頒布する。

付則：和文誌の頒布も希望する外国会員は郵送料等を負担することとする。

（付則）

第6条 本会則は1996年1月1日より改正施行する。

●会計関係

- (1) 1994年度一般会計の決算報告および同監査報告は表-1の通り承認された。
- (2) 1994年度山田幸男博士記念事業特別会計の決算報告および同監査報告は表-2の通り承認された。
- (3) 1995年度一般会計および山田幸男博士記念事業特別会計の予算は表-3の通り承認された。
- (4) 1995-1996年度の会計監査に田澤伸雄氏、工藤利彦氏を選出した。

表-1 1994年度一般会計決算（1994.1.1～1994.12.31）

収入の部（円）		支出の部（円）	
会費	5,882,775	印刷費	5,991,507
普通会員	4,115,000	印刷代	5,232,400
学生会員	319,000	別刷代	759,107
外国会員	292,775	編集費	420,589
団体会員	936,000	英文校閲料	100,000
賛助会員	220,000	編集補助費	50,000
販売	1,045,850	通信連絡費	214,974
定期購読	897,600	事務用品	55,615
バックナンバー	148,250	会誌発送費	442,510
別刷代	947,000	庶務費	898,563
超過頁負担金	804,000	事務用品費	0
広告代	210,000	会議費	17,304
受取利息	48,224	通信・印刷費	442,038
プログラム代	36,560	事務整理補助費	0
文部省刊行助成金	1,190,000	幹事旅費補助	27,940
雑収入	13,282	幹事手当	200,000
寄付金	742,277	諸雑費	211,281
		事務業務委託費	1,557,360
		第18回大会補助費	120,000
		秋季シンポジウム会場費	50,000
		山田基金へ繰越金	56,400
小計	10,919,968	小計	9,536,929
前年度繰越金	4,838,553	次年度繰越金	6,221,592
合計	15,758,521	合計	15,758,521

貸借対照表（1994.1.1～1994.12.31）

貸方（円）		借方（円）	
定期預金（第一勧業）	3,000,000	未払金	2,278,792
普通預金（第一勧業）	2,009,224	前受会費	1,481,775
普通預金（住友銀行）	377,116		
[本部]	377,116]	前期繰越金	4,838,553
普通預金（山梨中央）	6,682	当期剰余金	1,383,039
[編集室]	6,682]		
郵便振替貯金	2,121,476	次期繰越金	6,221,592
小口現金	355,446		
事務局	160,838		
本部	194,608		
受取小切手	103,055		
カード	72,880		
UCカード	72,880		
アメリカンエキスプレス	0		
未収金	1,936,280		
合計	9,982,159	合計	9,982,159

日本藻類学会の平成6年度決算書に対し、記名捺印する。

平成7年3月2日
 会 長 有 賀 祐 勝 ㊟
 会計幹事 能 登 谷 正 浩 ㊟

決算書が適正であることを認める。

平成7年3月2日
 会計監査 大 森 正 之 ㊟
 会計監査 都 筑 幹 夫 ㊟



表-2 1994年度山田幸男博士記念事業特別基金会計決算（1994.1.1～1994.12.31）

収入の部（円）		支出の部（円）	
寄付金	37,000	賞状代	9,022
受取利息	81,340	送金手数料	309
一般会計より繰入金	56,400		
小 計	174,740	小 計	9,331
前年度繰越金	2,332,459	次年度繰越金	2,497,868
合 計	2,507,199	合 計	2,507,199

貸借対照表（1994.1.1～1994.12.31）

貸 方（円）		借 方（円）	
定期預金（住友銀行）	1,900,000	前期繰越金	2,332,459
普通預金（住友銀行）	377,116	当期余剰金	165,409
		次期繰越金	2,497,868
合 計	2,497,868	合 計	2,497,868

日本藻類学会の平成6年度決算書に対し、記名捺印する。

平成7年3月2日
 会 長 有 賀 祐 勝 ㊟
 会計幹事 能 登 谷 正 浩 ㊟

決算書が適正であることを認める。

平成7年3月2日
 会計監査 大 森 正 之 ㊟
 会計監査 都 筑 幹 夫 ㊟

表-3 1995年度一般会計予算

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
会費	5,016,000	和文誌印刷・発送費	1,920,000
普通会員	3,389,000	印刷代	1,400,000
学生会員	252,000	別刷代	300,000
外国会員	529,000	発送費	220,000
団体会員	648,000	英文誌印刷・発送費	4,217,600
賛助会員	198,000	普通会員	2,690,000
販売	262,000	学生会員	280,000
定期購読	162,000	外国会員	537,600
バックナンバー	100,000	団体会員	600,000
別刷代	300,000	賛助会員	110,000
超過頁負担金	300,000	編集費	500,000
広告代	120,000	編集補助費	80,000
受取利息	40,000	通信連絡費	300,000
プログラム代	30,000	事務用品費	120,000
文部省刊行助成金	1,190,000	庶務費	
英文誌還付金	200,000	事務用品費	40,000
雑収入	10,000	会議費	40,000
寄付金	200,000	通信・印刷費	400,000
		諸雑費	50,000
		幹事旅費補助	40,000
		事務引継費	40,000
		バックナンバー移転費	40,000
		第19回大会補助費	120,000
		秋季シンポジウム補助費	50,000
小計	7,668,000	小計	7,657,600
前年度繰越金	6,221,592	予備費	6,231,992
合計	13,889,592	合計	13,889,592

1995年度山田幸男博士記念事業特別基金会計予算

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
山田追悼号売上金	7,000		
コンプ類売上金	1,000		
日米セミナー売上金	4,000		
受取利息	50,000		
小計	62,000	小計	0
前年度繰越金	2,497,868	予備費	2,559,868
合計	2,559,868	合計	2,559,868

会 員 異 動

新入会

住所変更

氏名変更

名称変更

退会

訃報

本会会員 神田智之氏は去る1995年4月4日逝去されました。
謹んで哀悼の意を表します。

日本藻類学会